

九州体育・保健体育ネットワーク研究会 2015 ファイナル(第1案)

－九州から日本、そしてアジアへ～学校体育の充実に向けて～－

1 目的

九州各県の体育科・保健体育科教育に関わる小中高の学校関係者、教育委員会関係者、大学関係者によって構成される有志が、新学習指導要領への理解、体育学習や保健学習に関する授業力の向上、教育課程編成等体育科教育の充実に向けて、語り合う機会とし、九州から全国へ実践ベースの情報を発信する。

2 主催／共催／後援（申請中）

〔主催〕九州体育・保健体育ネットワーク研究会、北海道・東北ネットワーク研究会
北信越ネットワーク研究会

〔共催〕鹿屋体育大学、宮崎大学、熊本大学、福岡教育大学、佐賀大学、九州共立大学
鹿児島大学

〔後援〕大分県教育委員会、沖縄県教育委員会、鹿児島県教育委員会、熊本県教育委員会
長崎県教育委員会、福岡県教育委員会、宮崎県教育委員会、佐賀県教育委員会

3 期日

平成27年2月21日（土） 10:30～17:00（受付：10:00～）

4 場所

福岡県立スポーツ科学情報センター（アクシオン福岡）

住所 〒812-0852 福岡市博多区東平尾公園2-1-4

TEL 092-611-1717

5 内容

10:00 受付

10:30 開会

（代表挨拶）鹿屋体育大学 佐藤 豊

（来賓挨拶）福岡体育研究所 寺崎所長

第1部「全国から学ぶ・九州から発信する～学校体育の充実に向けて～」

10:40～11:40 「授業づくりのヒント」 発表 15分×質疑5分

① 全国体力・運動能力テストから見える学校体育の充実 国立教育政策研究所 末永 祐介

② 2020年に向けたアンチドーピング教材の可能性 JADA専門官 山本真由美

③ 鹿児島県の取組2014 鹿児島県総合体育センター指導課研修係長 伊地知 裕

11:40～11:50 事務連絡（総会・会計報告）

11:50～12:40 昼食・休憩

12:40～14:00 「ポスターセッション」大学、学校、行政の情報を共有する

学校行政2014

・体育活動コーディネーター報告④ 大分県

・主題「主体的に運動に取り組む生徒を育てる保健体育科学習指導」福岡体育研究所長期
研修員 横井 孝史 他九州各県の情報提供を予定

授業実践2014

・陸上高跳びの教材開発＝下野式体育の新たな挑戦(春日市立春日東中学校 下野 六太)

・体づくりアプリの実践と成果(福岡県立育徳館中学校 藤田弘美) 他

大学教師教育、体育科教育2014

・中学校連携模擬授業を通じたアクティブ・ラーニング型授業における実践力育成の提案
(鹿屋体育大学 佐藤豊、梶ちかこ)

・単元構造図ワークショップ型授業づくりの情報提供 鹿屋、愛媛、岩手、東海大学共同
研究 他大学研究の情報提供を予定

14:15～16:30

第2部「保健体育授業づくりシンポジウム」

世界の体育の危機を共有する 「アジアの学習指導要領の変化と日本の課題」

パネリスト

韓国 JeongAe You(ユージョンエ) 韓国中央大学 教授
台湾 Yuh-Chih Chen(陳玉枝) 国立台東大学 教授
日本 高橋修一 国立教育政策研究所教育課程調査官
コーディネーター

佐藤 豊 鹿屋体育大学スポーツ人文・応用社会科学系
通訳 吉野聡(茨城大学)、本多壮太郎(福岡教育大学)

16:30 全体意見交換・アンケート記入等

17:00 終了

18:30 情報交換会(福岡市内)

6 参加費

1,000円：ラウンド参加者ですでに会費納入者は除きます。

7 参加申込

下記アドレスを直接アドレスバーに打ち込み、HPへアクセスし送信ください。
なお、2月10日(月)までにお申し込みください。(携帯からのアクセスも可)

<http://eap.pref.nagasaki.lg.jp/kv2/?42000C00001776dzl>

携帯からの参加

申込はこちらから

申し込み画面にジャンプします。

*ポスター発表をしていただける方は、要項原稿の作成がありますので、1月31日(土)までに原稿を送信してください。



8 その他

◆ 宿泊については、各自手配をお願いします。

◆ 情報交換会は福岡市内で実施します。(5,000円程度)

なお、準備の関係上、会議と情報交換会を併せて参加の有無をお知らせください。

◆ 実践発表を希望される方は、1月31日(土)までに申し込みサイトからエントリーをしてください。

学校現場実践、大学生等ポスターセッションにおける発表が可能です。学会ではありませんので、既発表のものも可能です。研究や実践の成果を広くご発表下さい。

9 問合せ/連絡先

<http://eap.pref.nagasaki.lg.jp/kv2/?42000C00001776dzl>

ポスター発表希望の方は、備考欄に、「ポスター発表希望(発表タイトル、氏名)」をご記入下さい。

10 会場案内



バス

JR博多駅 バスターミナル14番乗り場から
37, 39, 39-Bのバス・・・約20分
(月隈団地経由) (アクション福岡前下車)
福岡空港 地下鉄4番出口 福岡空港前バス停
から37, 38, 39のバス・・・約7分

車

JR博多駅から・・・・・・・・約20分
都市高速道路利用の場合
福岡方面から：月隈ランプ出口を降りて・・・・約6分
太宰府方面から：金の隈ランプ出口を降りて・・・・約9分

ポスター作成イメージ

保健体育授業づくりシンポジウム 2014 九州から全国へ ～学校体育の充実に向けて～

体づくり運動タブレットを活用した授業実践

2014.3.8

北本憲仁 熊本県山鹿市立菊鹿中学校 y-kikukajh@educet01.plala.or.jp

1 体づくり運動って



◇「体ほぐしの運動」「体力を高める運動」
◇7単位時間以上の実施
◆自他の心と体に向き合って、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、心と体をほぐしたり、体力を高めたりする。
◆健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に適した運動の計画を立て取り組む。

2 現場の状況は

◇学習指導要領完全実施から2年目 ・指導内容は概ね理解できているが、指導方法が難しい。 ・トレーニングの要素がどうしても強くなる。 ・何となくレクリエーションっぽく感じてしまう。 ・学習準備物が多く、学習シートの活用に時間がかかる。 等	◇授業を受ける生徒たちは ・楽しんで運動している感じ。 ・知識が身についていない。 ・活動に時間のロスが生まれる。 ・あまり日常化しない。
--	---

3 タブレットの活用

体づくり運動アプリ	映像で運動の行い方が学習できる	運動の計画が生徒自身で作成できる	教師専用管理画面で生徒の情報を一元管理
-----------	-----------------	------------------	---------------------

4 実践例【1年生】

ログイン

体づくりアプリ活用:運動例を参考に自主的に

ねらい

一斉指導

呼吸を合わせて、「せーのっ!」

振り返り・まとめ

◇生徒たちは、学習内容を理解し、ペアやグループで助け合ったり教え合ったりして活動していた。
◇教師は本時のねらいを意識、多くの運動を行っている状況を把握、主に操作のサポートを行った。

5 成果と課題

①動画の運動例やそのポイントが示しており、生徒たちの学習内容の理解に大きく役立った。②1時間の「導入・展開・終末」の流れがスムーズだった。③生徒の自主的な姿が随分見られた。また、教師側のサポートをしてくれたアプリだった。④事前にアプリで学習内容や展開を確認できたので、授業が本当に進めやすかった。⑤学習規律を徹底したり、タブレット使用のルールを決めたりしたことがよかった。⑥指導と評価の一体化につながった。	●活動時におけるタブレットの管理を考えないと、安全面の心配や破損の恐れがある。●2人で1台が理想的であるが、タブレットの台数やWiFi環境等を整備しないと活動が停滞する。●運動例は豊富だが、授業中だけで見てしまうことは難しい。
---	---

6 これから

エクセル
ワードで
A4 サイズ

タイトル
お願いします

発表者の
所属、氏名
等

作成資料、
指導案、タ
ブレット
による映
像等の提
供も可能
です